

令和元年度北海道地方独立行政法人評価委員会試験研究部会
現地視察について

より適正な業務実績評価等の実施に向けて、試験研究部会において道総研の試験研究の現場の現状を把握するため、視察を実施する。

1 視察日

令和元年（2019年）10月中旬～11月上旬

2 視察先（案）

- (1) 食品ロボット実証ラボ（通称：ROBOLABO）（札幌市）（開所日：H30.11.20）

〈施設の概要〉

道内食品加工メーカーに対するロボット導入の担い手の育成を目的とした、各種ロボットを用いた実践的な技術習得の支援施設。

- (2) 産業技術研究本部 食品加工研究センター（江別市文京台）

〈施設の概要〉

様々な種類の食品加工に関する試験を行っており、特に食品衛生法上の施設基準に適合する試作実証施設の利用については、市場調査を目的とした試験販売または無償販売に供する食品を製造することが可能となっている。

- (3) その他

別紙参考資料のとおり。

3 出席委員

評価委員会試験研究部会 委員5名（予定）

4 行程（案）

1日（日帰り）日程を基本とし、各委員の日程を調整する。

5 その他出席者（予定）

【事務局】 研究法人室 2～3名程度

【道総研本部】 道総研連携推進部 2名程度

6 その他

各委員の日程を確認後、開催日を決定。

行程及び視察内容の詳細については、別途法人本部等と協議する。

(参考)

- 現地視察のその他候補施設
 - ・ 函館水産試験場（函館市）
〈主な研究等〉
道南海域のイカの漁況予測やスケトウダラなどの資源管理、ホタテガイ養殖に関する調査研究などを行っている。
 - ・ 栽培水産試験場（室蘭市）
〈主な研究等〉
マツカワなど栽培対象種の種苗生産から、放流・管理までの一貫した栽培漁業技術開発に関する調査研究などを行っている。
 - ・ 林産試験場（旭川市）
〈主な研究等〉
木材・木質材料の性能、木材の化学的利用、木材の加工技術などに関する試験研究などを行っている。

- 過去の視察状況（下線は研究本部設置場所）

平成21年（2009年） 7月17日 環境科学研究センター、地質研究所、工業試験場
10月19日 中央農業試験場、食品加工研究センター
平成22年（2010年） 11月 5日 北方建築総合研究所、林産試験場
平成23年（2011年） 10月31日 中央水産試験場
平成24年（2012年） 11月 5日 林業試験場
平成25年（2013年） 11月 1日 食品加工研究センター
平成26年（2014年） 11月 5日 函館水産試験場
平成27年（2015年） 10月28日 食品加工研究センター、花・野菜技術センター
11月25日 食品加工研究センター
平成28年（2016年） 10月20日 上川農業試験場、林産試験場
平成29年（2017年） 10月16日 畜産試験場
平成30年（2018年） 11月 5日 中央農業試験場（遺伝子資源部）、花・野菜技術センター

（平成 21～30 年度の間に視察を行っていない試験研究機関）

○ 農業研究本部

道南試験場（北斗市）、十勝農業試験場（芽室町）、酪農試験場（中標津町）、
北見農業試験場（訓子府町）

○ 水産試験研究本部

釧路水産試験場（釧路市）、網走水産試験場（網走市）、稚内水産試験場（稚内市）、
栽培水産試験場（室蘭市）、さけます・内水面水産試験場（恵庭市）